

学校だより



平成 29 年 8 月 28 日
横浜市立二谷小学校
校長 石川 秀子

バトン

学校長 石川 秀子

猛暑、豪雨、日照不足と今年の夏は例年よりも天候に悩まされている印象があります。皆様はお知り合いを含め御無事でしたでしょうか。

底板の修理が終わり新しくなったプールで7月から子ども達も水泳学習に元気に取り組んできました。夏季水泳教室にも参加して区や市の水泳大会で自己ベスト更新に挑んだ子ども達もいます。それぞれが自分の目当てに向かって毎日の時間を過ごした夏休みが終わりました。子ども達は楽しく過ごした満足感と、一抹の名残惜しさを感じていることと思います。学校に子ども達の姿が戻ってくるとホッとすると同時に元気が湧いてきます。

さて、高校野球の熱戦や、ロンドンで行われていた世界陸上の応援にこの夏をすごしたという人もいることでしょう。8月12日に行われた男子400メートルリレーでは38秒04で日本チームが銅メダルを獲得。快挙にわきました。「100メートルを9秒台で走る選手はいない」中の快挙とも報じられますが一人ひとりが9秒台に違い実力を持つ中、磨いてきたバトンバスがうまくはたらき予選よりタイムを縮め銅メダルに輝いたとのこと。一人ひとりが持てる力を発揮し、その力のまま次にバトンを渡すことができたからこそ、結果につながったのだと思います。

私たちは様々なバトンを受け継ぎ、また次へとつないでいます。戦後から72年、8月6日、8月9日、8月15日。広島・長崎原爆の日。戦没者を追悼し平和を祈念する日を迎えました。先の戦争を体験した方々は私の親の世代かと思います。先人の思いを受け継ぎ、一人ひとりが平和な世界をつくっていく、よく見聞きし考え、判断する力を伸ばし、周りの人とともにより良く生きていく社会をつくれるよう学校や家庭、地域の果たす役割は重要です。

新小学校学習指導要領がこの3月に発表されました。教員にとっては新学習指導要領実施に向け研修に取り組んだ夏でもありました。「主体的・対話的で深い学び」を通して、新しい時代に生きる子どもたちに必要な資質・能力の育成を図っていきます。子どもたちが思いをもち、自分とも他者とも対話し学びを深めよりよい社会をつくりあげる一員として成長する姿を追い求めていきます。

学校・家庭・地域が子どもたちの学びの場であり、成長を支え見守る場であり続けるよう、これからの学校生活もたくさんの挑戦を積み重ね子どもたちを育てられるよう、教職員一同取り組んでまいります。地域・保護者の皆様も健康に留意されお過ごしください。今月もよろしく願いいたします。